



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所

東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,417	31.5	22	—	14	—	14	—
2020年3月期第1四半期	6,399	△36.6	△118	—	△140	—	△95	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 14百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △143百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.05	—
2020年3月期第1四半期	△0.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	7,745	6,416	82.7	22.12
2020年3月期	7,756	6,402	82.4	22.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 6,406百万円 2020年3月期 6,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,100	28.0	10	—	△10	—	△20	—	△0.07
通期	32,600	14.3	△60	—	△100	—	△120	—	△0.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	289,747,982 株	2020年3月期	289,747,982 株
2021年3月期1Q	100,644 株	2020年3月期	100,360 株
2021年3月期1Q	289,647,492 株	2020年3月期1Q	289,649,264 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動の停滞や個人消費の落ち込みに加え、世界各国の工場停止に伴うサプライチェーンの毀損等、極めて厳しい景気環境のもと推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済低迷に潜むインフレリスクや、米連邦準備制度理事会の大規模な金融緩和策等を背景に、安全資産として金需要が増加したことから大幅に上昇いたしました。業績につきましては、金価格の上昇が寄与したことから概ね堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等、住宅購買環境は良好であるものの、建築コストの増加や地価の高止まりによる仕入価格の高騰等、事業環境は厳しい状況のもと推移いたしました。機械市況においては、世界経済の先行き不透明感から国内外の製造業で設備投資が先送りされたことが影響し、内外需ともに受注が減少したことから業績は低調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により生産委託先の工場が稼働停止する等、一部の商品において納期遅延が生じたことや、物販イベントが延期・中止となったものの、ライセンスアウトを受けて発売した『鬼滅の刃』等のグッズ販売が好調であったことから、業績は好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は8,417,217千円（前年同四半期6,399,291千円31.5%増）、営業損益は22,968千円の利益（前年同四半期118,964千円の損失）、経常損益は14,769千円の利益（前年同四半期140,874千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は14,308千円の利益（前年同四半期95,675千円の損失）となりました。

貴金属事業におきましては、売上高は7,648,846千円（前年同四半期5,894,401千円）、営業損益は60,455千円の利益（前年同四半期2,711千円の利益）となりました。

不動産事業におきましては、売上高は41,911千円（前年同四半期22,906千円）、営業損益は12,244千円の損失（前年同四半期2,861千円の損失）となりました。

機械事業におきましては、売上高は150,762千円（前年同四半期268,916千円）、営業損益は27,368千円の損失（前年同四半期8,106千円の利益）となりました。

投資事業におきましては、営業損益は6,952千円の損失（前年同四半期105,879千円の損失）となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は575,884千円（前年同四半期298,851千円）、営業損益は114,778千円の利益（前年同四半期76,423千円の利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より11,346千円減少し、7,745,276千円となりました。

（流動資産）

流動資産の残高は、前連結会計年度末より4,277千円増加し、5,413,133千円となりました。

増加の主なものは、売掛金の増加（415,770千円から560,509千円へ144,739千円の増加）、仕掛品の増加（329,687千円から381,577千円へ51,889千円の増加）であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少（2,938,318千円から2,821,601千円へ116,716千円の減少）及び商品及び製品の減少（1,268,276千円から1,178,428千円へ89,848千円の減少）であります。

（固定資産）

固定資産の残高は、前連結会計年度末より15,624千円減少し、2,332,142千円となりました。

（流動負債）

流動負債の残高は、前連結会計年度末より19,919千円減少し、995,937千円となりました。

増加の主なものは、買掛金の増加（140,440千円から198,030千円へ57,589千円の増加）であります。

減少の主なものは、未払法人税等の減少（65,186千円から13,384千円へ51,801千円の減少）であります。

（固定負債）

固定負債の残高は、前連結会計年度末より5,703千円減少し、332,600千円となりました。

（純資産）

純資産の残高は、前連結会計年度末より14,275千円増加し、6,416,738千円となりました。

増加の主なものは利益剰余金の増加（175,086千円から189,394千円へ14,308千円の増加）であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから未定と

しておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,938,318	2,821,601
売掛金	415,770	560,509
商品及び製品	1,268,276	1,178,428
仕掛品	329,687	381,577
原材料及び貯蔵品	18,360	19,336
販売用不動産	100,113	74,373
預け金	328	328
その他	378,069	417,045
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	5,408,855	5,413,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,169,251	1,169,251
減価償却累計額	△615,352	△627,164
建物及び構築物（純額）	553,899	542,087
機械装置及び運搬具	504,512	505,855
減価償却累計額	△451,224	△454,149
機械装置及び運搬具（純額）	53,288	51,706
土地	1,472,391	1,472,391
その他	119,199	124,325
減価償却累計額	△101,583	△103,249
その他（純額）	17,616	21,075
建設仮勘定	5,000	380
有形固定資産合計	2,102,195	2,087,640
無形固定資産		
その他	12,403	11,914
無形固定資産合計	12,403	11,914
投資その他の資産		
投資有価証券	100,071	100,071
出資金	10,105	10,105
長期未収入金	400,915	400,915
敷金及び保証金	115,243	115,098
その他	7,747	7,313
貸倒引当金	△400,915	△400,915
投資その他の資産合計	233,167	232,588
固定資産合計	2,347,767	2,332,142
資産合計	7,756,623	7,745,276

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,440	198,030
短期借入金	550,000	550,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	55,666	44,746
未払金	23,028	11,136
未払法人税等	65,186	13,384
ポイント引当金	2,600	2,300
その他	128,934	126,338
流動負債合計	1,015,856	995,937
固定負債		
長期借入金	105,211	99,841
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	12,708	12,708
繰延税金負債	8,976	8,642
資産除去債務	207,455	207,455
固定負債合計	338,303	332,600
負債合計	1,354,160	1,328,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	175,086	189,394
自己株式	△31,279	△31,284
株主資本合計	6,392,734	6,407,037
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△71	△98
その他の包括利益累計額合計	△71	△98
非支配株主持分	9,800	9,800
純資産合計	6,402,462	6,416,738
負債純資産合計	7,756,623	7,745,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,399,291	8,417,217
売上原価	6,172,463	8,057,379
売上総利益	226,827	359,838
販売費及び一般管理費	345,791	336,870
営業利益又は営業損失 (△)	△118,964	22,968
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	5
国庫補助金収入	8,650	8,392
保険金収入	—	720
その他	4,723	2,293
営業外収益合計	13,380	11,410
営業外費用		
支払利息	1,425	1,153
休山管理費	25,373	16,942
その他	8,491	1,513
営業外費用合計	35,289	19,609
経常利益又は経常損失 (△)	△140,874	14,769
特別利益		
固定資産売却益	63	—
補助金収入	—	7,655
特別利益合計	63	7,655
特別損失		
操業休止関連費用	—	5,134
特別損失合計	—	5,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△140,810	17,290
法人税、住民税及び事業税	3,395	3,315
法人税等調整額	△439	△333
法人税等合計	2,956	2,982
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△143,766	14,308
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△48,091	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△95,675	14,308

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 6 月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△143,766	14,308
その他の包括利益		
為替換算調整勘定 (税引前)	△100	△27
その他の包括利益合計	△100	△27
四半期包括利益	△143,866	14,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,775	14,280
非支配株主に係る四半期包括利益	△48,091	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、経済活動や生活行動等に広範な影響を与える事象であり、当社グループは、2021年3月期においてもその影響が続くものと想定しております。当該仮定に基づき、固定資産の減損会計等を見積りを行った結果、当第1四半期連結会計期間の財政状態及び経営成績に重要な影響はありません。なお、この仮定は不確実性が高いため、収束が遅延し、影響が長期化した場合には、翌四半期連結会計期間以降の財政状態、経営成績の状況に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	5,894,401	19,224	268,916	△97,194	298,851	15,090	6,399,291
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,682	—	—	—	—	3,682
計	5,894,401	22,906	268,916	△97,194	298,851	15,090	6,402,973
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,711	△2,861	8,106	△105,879	76,423	△3,312	△24,811

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	6,399,291
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△3,682	—
計	△3,682	6,399,291
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△94,152	△118,964

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△94,152千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,152千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	7,648,846	38,229	150,762	—	575,884	3,494	8,417,217
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,682	—	—	—	—	3,682
計	7,648,846	41,911	150,762	—	575,884	3,494	8,420,900
セグメント利益又は セグメント損失(△)	60,455	△12,244	△27,368	△6,952	114,778	△4,465	124,203

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	8,417,217
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△3,682	—
計	△3,682	8,417,217
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△101,235	22,968

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△101,235千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△101,235千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。